

明けまして おめでとう ございます

神奈川県合唱連盟副理事長 福田 美知子

明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

昨年は、世界を舞台としたスポーツ選手たちの活躍が話題となりました。特にラグビーワールドカップでは、世界に衝撃を与えた日本の歴史的勝利が皆様の記憶に新しいことと思います。

ラグビーが日本中を感動の渦に巻き込んだちょうどその時期、神奈川県相模原市では全日本合唱コンクール関東支部大会の中学校・高等学校部門が開催されました。生徒の皆さんの「歌いたい」「伝えたい」という気持ちの表れが、聴く者の心に響き、会場のすべての人々が活気にあふれる歌声に感動しました。そして、何よりもそのレベルの高さに圧倒されたのではないのでしょうか。

合唱界の将来が心配されます昨今、合唱の現場にも「人数の減少」という待ったなしの課題が突きつけられています。少なくともこの大会を見る限り未来は明るいと、県連の一員として心強く思いました。

一方、11月に開催された「ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル in よこはま」では、平均年齢60歳以上の合唱団、34団体の皆様が素晴らしい演奏を披露して下さいました。

舞台からは、皆様の合唱に向ける熱き思いがひしひしと伝わってまいりました。こちらでも中高生に負けないパワーを感じましたが、さらに驚いたことに参加者の中には90歳以上の方が12人もいらっしゃったのです。

最高齢の方はなんと95歳!凛としたお姿からはとてもそのお年とは思えず、ジュニアからシニアまで、合唱人口の層の厚さを改めて感じました。

新しい年の幕開けは「合唱フェスティバル」に始まり、「ヴォーカルアンサンブルコンテスト」と続きます。

今年も皆様と合唱を通して心豊かな関わりを持つことができますよう、県連理事一同心より願っております。

最後になりましたが、これらのイベントが無事に開催できますのも、毎回お手伝い頂いておりますスタッフの皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

これからも県連は皆様がより一層合唱を楽しめますように、力の限り応援して参ります。

今年も大いに歌い、楽しい一年にしていきたいと思います。



第70回関東合唱コンクール 開催報告

9月19、20日の2日間、相模大野の相模女子大学グリーンホールに於いて、第70回関東合唱コンクール中学校・高等学校部門が開催されました。今年は、神奈川県合唱連盟が主管県でした。県連を上げて準備から当日の運営までを担当いたしました。実行委員会の皆さんを始め、お手伝いのスタッフとして沢山の皆様にお世話になりました。お陰様で無事終了いたしました事を改めまして御礼申し上げます。この大会を通して、県連スタッフの優秀な人材、そして団結力、実行力に触れ、大変に誇らしく、また、感動をいただいた2日間となりました。次の主管事業は2017年5月の全日本コーラスワークショップとなります。日本全国の合唱を愛する皆様をお迎えして、神奈川ならではのワークショップをご堪能いただきたいと思います。その節は県連の皆様のお知恵と、お力をお借りしたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

神奈川県合唱連盟理事長 松村 努



相模女子大学グリーンホール



結果発表を待つ間の参加者の大合唱

第70回関東合唱コンクール レポート



神奈川県が主管する関東合唱コンクール（中学校・高等学校部門）にスタッフとして参加しました。

9月19日、20日合わせて89校、約3,900名が参加する大規模な行事にスタッフ、大会役員等のべ190名以上が携わっていました。

慣れない会場に、遠方からたくさんの緊張感みなぎる参加者をお迎えするのですから、どの部署もご苦労は一方ならぬものがあつたと思います。

中でも駐車場係は大変でした。大型バスが何台も発着するのですが、グリーンホールにも周辺の駐車場にも大型バスのスペースがありません。隣接する公園を相模原市から借用し、乗降のみに限定して到着時間発車時間の一覧表を作り、会場や受付と連携して、生徒さんたちを誘導、駐車できないバスは周回するよう指示をして一般車の流れを滞らせないようにしたりと、真っ赤に日に焼け、汗だくになっての作業でした。バス会社の方にも協力して頂いたので、退出時には20台以上のバスを20分足らずで捌いていたように思います。暗くなった公園で煌々とライトを照らしたバスが次々に流れるように移動する光景は、夢のように美しくお見事でした。

チケットも完売で入場制限があつたため、会場整理も休む間もない重労働でした。二日間声を枯らして働いていたスタッフに飴を下さつたおじいさんがいらしたそうで、とても嬉しかったそうです。

結果は悲喜こもごも、すべてを終えて会場を後にする参加者をスタッフが行列を作って拍手で送り出している様子も心温まるものでした。

その他、誘導や舞台進行、接待にいたるまで、あちこちで知恵と力が結集しての運営が展開されていました。前日までの準備にもご苦労があつたことと思います。反省も色々あると思いますが充実の二日間でした。本当にお疲れ様でした。

(カノン編集委員 青山 道代)

第70回 関東合唱コンクール

(第68回 全日本合唱コンクール関東支部大会)

中学校・高等学校部門

日 程：2015年9月19日(土) 中学校部門
2015年9月20日(日) 高等学校部門
会 場：相模女子大学グリーンホール
(相模原市文化会館)

本県代表団体の審査結果(賞ごとに出演順)

【中学校部門 混声合唱の部】

銀賞 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校

銅賞 横浜市立緑が丘中学校

【中学校部門 同声合唱の部】

金賞 清泉女学院中学校音楽部 代表
※関東支部長賞を受賞

【高等学校部門 Aグループ】

金賞 清泉女学院高等学校音楽部 代表

日本女子大学附属高等学校
コーラスクラブ 代表

銀賞 桐蔭学園混声合唱部

【高等学校部門 Bグループ】

金賞 県立湘南高校合唱部

銀賞 県立生田高校グリークラブ

桐光学園中学高等学校合唱部

銅賞 神奈川県立海老名高等学校合唱部

北鎌倉女子学園コーラス部



大学職場一般部門

日 程：2015年10月4日(日)
大学職場一般部門
会 場：茨城県立県民文化センター

本県代表団体の審査結果(賞ごとに出演順)

【大学職場一般部門・大学ユース合唱の部】

銅賞 TAMA STAR SINGERS

【大学職場一般部門・室内合唱の部】

金賞 かながわフリーダム・シンガーズ

銅賞 合唱団たまとも

【大学職場一般部門・同声合唱の部】

金賞 小田原少年少女合唱隊 代表
※関東支部長賞を受賞

La Pura Fuente 代表

銀賞 湘南はまゆう

【大学職場一般部門・混声合唱の部】

[本県代表団体なし]



関東合唱コンクール表彰式
(中学校・高等学校部門)

第68回

全日本合唱コンクール全国大会

第68回全日本合唱コンクール全国大会は、10月24日(土)に高等学校部門、25日(日)に中学校部門が埼玉県の大宮ソニックシティにて、11月21日(土)、22日(日)に大学職場一般部門が長崎ブリックホールにて開催されました。神奈川県からは合わせて5団体が出場し、鍛え上げられた演奏を披露しました。



長崎ブリックホール

文化祭真っ最中の関東大会と定期試験の3日前の全国大会。今年度も学校行事と日々の学習のすき間をぬいながらも、アットホームな温かい雰囲気や絶やさず、全国大会の日を迎えることができました。

高校生の自由曲は、鈴木輝昭作曲《火へのオード》より「終の日のわたしを焼く」。アッジ教会の聖フランチェスコの生き様を彷彿とさせるテキストで、「終の日に私を焼く火があるのなら、今、私にください。その火のエネルギーを私は周囲の人々の喜びのために遣いたいのです。」……この熱い想いと、教会の鐘の音とコーラルの響きを、鈴木作品の輝く音で表現できるよう心を合わせて練習した4ヶ月でした。当日の出演順は3番目、朝5時に起床し2時間の練習後、ハロウィンの装飾のかわいいレストランで朝食をとり会場入り。本番前に恒例の円陣組み共に励まし合い、心を合わせて愛と恵みの世界を描き出せた最高の一時でした。人生が終わるときに満足の微笑みを浮かべて旅立つこのテキストの生き方が、生徒一人一人の心に浸透した一瞬だったと思います。結果は「金賞」、これが最後のコンクールとなる高校2年生は、中学時代より全国大会5回連続金賞という結果を残せ、大満足のようでした。

中学生は、今年もハンガリーの新進作曲家ジェンジェシ氏の

2014年の作品に取り組みました。テキストは旧約聖書「エレミアの哀歌」、「哀しみと絶望」に浸る人々の心に寄り添い



つつ、世界に「喜び」が広がりますようにと祈りながら練習を続けてきました。技術的には、騎馬兵の音が響くかのような戦争の場面の表現、幅広い音域、ラテン語の発音など、中学生にとってハードルが高い曲でしたが、ヴォイストレーニングなどの基礎練習にかなりの時間を費やし、当日は、神への讃美と感謝の声を響かせようと心一つに歌い上げることができました。「金賞」には一歩届かず、チョッピリ残念な想いをしていたようでしたが、高校部門の鑑賞や高校生と合同での写真撮影と、思い出が一杯に残る二日間だったと思います。

中学、高校生揃って、全国大会の大舞台で演奏できましたのも、神奈川県の皆様方の温かい応援の賜物と感謝申し上げます。今後とも、互いの心を重ね合わせながら、共に歌えることの喜びを感謝しつつ、鮮やかな清泉サウンドを目指し歌って参ります。

清泉女学院音楽部顧問 佐藤 美紀子

今年度もお蔭様で全国大会に出場させていただきました。

相模女子大学グリーンホールがよく響くホールの良さに助けられ、関東大会で代表の金賞をいただいた時の感激は今でも忘れられません。二期制の我校の生徒たちは、その感動も束の間に二週間の試験期間に入りました。試験明けからの限られた練習に、大曲を前にして不安と焦りを感じました。

全日本合唱コンクールの課題曲「氷雨」は旋律が美しく流れ、表現するものの情緒や色が沢山出せるだろうと選びましたが、p(ピアノ)の表現に悩まされました。

自由曲に選んだ『智恵子抄』から「裸形」も難しい曲でした。智恵子への愛を力強く作品としてこの世に残そうとする高村光太郎の凄まじい程の愛と意志の強さをいかに女声合唱で表現

するかが課題でした。どんな旋律でも無理のない自然な発声で美しく歌うことを目標にしていました



ので、今思うと沢山の問題があったように思います。

全国大会の一週間後に学園祭(もみじ祭)がありました。元氣よく高らかに歌い上げる生徒たちの笑顔に、コンクールの経験を通してひと回りもふた回りも大きく成長した青春の姿が映り、誇らしく眩しく感じました。

日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 丸山 恵子

戦後 70 年の節目の長崎での全国コンクール。演奏後にホワイエでスタッフ全員が拍手をして下さった時は「2 日間、全団体に温かい配慮を」と感激も、ひとしおでした。合唱隊全員で平和公園や原爆資料館を訪ね、多くの方達の犠牲のもとに、現在の私達の幸せがあることを感じました。その場での空気を感じることで、本を読んでも、映像を見ても分からないものが学生達の心の奥まで伝わって来ました。磯山 雅先生の「言葉の表現、伝える気持ちを前にだけでなく、横の連携も」という総合講評に、今後の指針を頂いたようにも思いました。審査結果、表彰の全てが終了した後の、ホール全員での「アヴェ・ヴェルム・コルプス」は、静謐な響きとなりました。

今まで全国にはマルベリー女声・混声・現役の 3 団体で参加することが多かったのですが、マルベリー 30 周年記念コンサートを 11 月 8 日にスペインからサラソラ氏、アスル

サ氏のお二人をお招きして開催したため、マルベリー 2 団体はコンクールには不参加でした。



今回の課題曲 F1 は小田原のみという状況でした。自由曲 1 曲目は、小林一茶などの俳句をスロベニア語にしたもの、2 曲目は松下 耕先生の、ことばあそびうたを歌い、「めいっぱい音楽を楽しもう」という目標は、ある程度達成できたかな、と思っています。

県連から頂いた祝電のぬいぐるみが、11 月 28 日の練習から加わっています。御配慮、有難うございました。

小田原少年少女合唱隊 桑原 妙子

今年はメンバーも増え、同声部門でのコンクールへの挑戦。昨年に続き 2 回目の全国大会出場、銀賞を頂くことができました。

自由曲 1 曲目は、ラトヴィアの作曲家デュブラの宗教曲。重厚さと甘さが交錯し、シンフォニックなメロディや、次々と変わっていく拍子が魅力的な作品。2 曲目は、ハンガリーの作曲家ジェンジェシの宗教曲。ピアノ、ボンゴ、タンバリンとのリズムカルな掛け合いが印象的で、私達も楽しみながら練習してきました。

当日は、ホールの響きの良さに心奪われるうちに緊張もほどけ、のびのびと歌うことができました。この大舞台に向けての練習は、日々のそれぞれの生活もあり、体力的にも精神的にも辛いこともありました。大学生から主婦まで、様々な個性の団員が、声をあわせると心も一つになってゆく気がして、それが合唱の楽しみだと、改めて実感しています。

全国大会という、素晴らしい演奏が溢れる場で、目一杯自分達らしい音楽を響かせることができましたことが、



何よりも喜びとなりました。また、戦後 70 年という節目の年にこの長崎を訪れ、共に祈りの歌を歌う機会を頂けたこと、団員一同、自らの生き方を問う貴重な機会となりました。これからもこの平和のうちに、様々な歌を楽しんでいくことができますように。

最後となりますが、神奈川県合唱連盟の皆様、家族、関係者の皆様には、本当にあたたかい応援と励ましを頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

La Pura Fuente 高橋 由弥

◆第68回 全日本合唱コンクール全国大会◆

中学校・高等学校部門

日程：2015 年 10 月 24 日（土） 高等学校部門
2015 年 10 月 25 日（日） 中学校部門
会場：大宮ソニックシティ（埼玉県）

本県から出場した団体の審査結果(賞ごとに出演順)

【高等学校部門 A グループ】

金賞 清泉女学院高等学校音楽部

銅賞 日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ

【中学校部門 同声合唱の部】

銀賞 清泉女学院中学校音楽部

大学職場一般部門

日程：2015 年 11 月 21 日（土） 大学職場一般部門
（大学ユース合唱、室内合唱）
2015 年 11 月 22 日（日） 大学職場一般部門
（同声合唱、混声合唱）
会場：長崎ブリックホール（長崎県）

本県から出場した団体の審査結果(賞ごとに出演順)

【大学職場一般部門・同声合唱の部】

金賞 小田原少年少女合唱隊 ※日本放送協会賞を受賞

銀賞 La Pura Fuente

第21回ヴィサン《人生百歳》 ジョイント・コーラスフェスティバル in よこはま

11月に入っても気温が20℃を下回らず、汗ばむくらいの陽気の中、11月5日(木)、第21回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルが、横浜みなとみらいホール大ホールにて開催されました。

今年は神奈川、東京、遠方は岐阜からのエントリーがあり、34団体約900名が参加してくださいました。

講師には、指揮者の大門康彦先生、声楽家の田中奈美子先生をお迎えし、講評をお願い致しました。

また今回、カンロ株式会社様より協賛を頂きました。社員の方が『音楽大学との共同開発ボイスケアのど飴』を出演者全員、来場のお客様にも手渡して配布してくださいました。

今年もアニメソング、グループサウンズ、バッハ、ドヴォルザーク、ミュージカルに松田聖子等々、バラエティーに富んだプログラムで、90歳以上の参加者が今年は12人!旭区、二宮町、秦野市、岐阜県より4団体の初参加がありました。各ブロックで全体合唱にテーマソングの『歌があるから』、連盟歌『朝の光に』を熱唱し、聴きに來てくださったお客様からも『良い歌ですね』とのお言葉を頂きました。



ボイスケアのど飴の展示

朝早くから夜遅くまで

ご尽力下さった、スタッフの皆様にも心からの感謝!

ヴィサンはこれまで、戦後日本の合唱を盛り上げてきてくださったシニアのみなさんによって支えられてきました。これからはたくさんの方々が目輝かせて歌うことのできるヴィサンを目指していきたいと思ひます。

次回は2016年11月26日(木)に開催予定です。ご参加お待ちしております。

ヴィサン実行委員長 杉山 範雄



ヴィサン実行委員



グリーンベル女声合唱団



Fruits

◆ 表彰団体 ◆

ルパン賞 (参加20回・出演順)

- ◆ひまわり会 ◆コーロ・セレーナ ◆ザ・シワクチャーズ横浜
- ◆JIRA男声合唱団

プリュニエ賞 (参加10回)

- ◆混声合唱団コーラス若葉

エフォル賞 (講師賞・出演順)

Aブロック

- ◆グリーンベル女声合唱団 ◆おたまじゃくしの会
- ◆旭混声合唱団

Bブロック

- ◆しほみコール ◆せやあじさいコーラス ◆晴嵐男声合唱団

Cブロック

- ◆男声合唱団フロイデ ◆コーラス翠陽
- ◆名前のない合唱団&ザ・リタイアリーズ

初出場 インタビュー!



☆Aブロックで出場のグリーンベル女声合唱団

今日は指揮者小黑先生の提案で、みなとみらいホールの小ホールでの経験はあるけれど、大ホールでも歌ってみようと言われ、参加しました。

大ホールだとどんな響きになるのか心配でしたが、気持ちよく歌えて、おまけにエフォル賞までいただけて、嬉しい一日になりました。

☆Bブロックで出場の Fruits

参加された理由はみなとみらいホールの大ホールで演奏したかったからだそうです。

○演奏してみてどうでした?

やはりすばらしいホールで、ステージに立ててとても幸せでした。

○皆さんともお若くていらっしゃいますよね?

はい、一応参加資格にははまっているのですよ。

ヴィサンは雰囲気がとてもあたたかくて、楽しくすごせました。ありがとうございました。

第50回クリスマス音楽会 「メサイア」全曲演奏会

2015年12月13日(日)神奈川県立音楽堂の主催で第50回記念「メサイア」演奏会が、指揮 小泉 ひろし、管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団で開催されました。合唱は県連加盟の28合唱団と3県立高校(海老名・湘南・大和西)の計220余名で演奏されました。高校生90名は「音楽堂『メサイア』未来プロジェクト合唱団」として参加し、5年目の今年は、初めて全曲演奏に取り組みました。演奏時の並び方も50年前の第1回にも参加している2名を含めた一般合唱団の方々、高校生が混ざって並びました。合同の練習回数は多くはありませんでしたが、高校生の若々しい声とベテランの声がうまくミックスしていました。特にソプラノは輝かしい音色になり、良い効果が出ていました。小泉先生の要望で「全練習に参加できること」を条件に合唱メンバーを募集して、今年は2年目です。11月中旬に全席完売という大きな期待を担った中で練習は進みました。小泉先生の「バロック様式での演奏を」という、熱心な指導が年々浸透してきており、演奏後は、先生ご自身も「今までで一番良い演奏だった」と仰っていました。音楽堂伊藤館長から高校生の皆さんに「50年後のメサイアも歌いに来て下さい」という挨拶がありました。演奏後に、感動している高校生たちを見ていると、現実の事になりそうな期待を持てる演奏会でした。



© 青柳 聡

(神奈川県合唱連盟副理事長 メサイア担当 志澤 彰)

指揮：小泉 ひろし ソプラノ：市原 愛 アルト：上杉 清仁(カウンターテナー) テノール：中嶋 克彦
バリトン：萩原 潤 チェンバロ：長久 真実子 オルガン：宇内 千晴
管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団 合唱：神奈川県合唱連盟(合唱指揮：松村 努)
音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団(県立海老名、湘南、大和西高等学校)

《指揮者の小泉ひろし先生にお話を伺いました》



- ◆50回のうち24回目の指揮となりましたが、これまでで一番ご苦労されたことは?~ヘンデルの美しさを本当に引き出すのがバロック様式なのですが、その形に変えていくのがとても大変でした。少しずつの積み重ねで今年が一番よかったです。
- ◆神奈川県メサイアの特徴のようなものはありますか?~メンバーが継続する一般の団体と違って神奈川は公募合唱団、いわば寄せ集めの団体なのですが、よくここまでになったと思います。バロックは特別な様式で、5回の練習ではとてもできるものではないので、経験のある方に歌っていただくようお願いをしています。
- ◆今回高校生が全曲に参加しましたが、いかがでしたか?~直接練習したのは2回だけで、細かいことはまだまだですが、彼らなりに精一杯やっていて本番は予想以上のできでした。生徒さんは飲み込みが早くて優秀です。
- ◆全曲暗譜で振っておられました~初めての演奏の時から暗譜です。暗譜していなければ、すべての奏者とコンタクトをとり、いろいろなものを引き出していくことはできません。ウィーンでバロック様式のメサイアに魅せられて、ぜひ日本に広めたいという気持ちでやってきました。

《海老名高校の黒澤先生と5人の生徒さんにお話を伺いました》



- ◆今年で5回目になります。全員1,2年生。初めは15名ほどで、学校まで松村先生が練習に来て下さったりしていました。昨年は後半を全員暗譜で歌ったのですが、今回は初めて重たい楽譜を持ちます。(黒澤先生)
- ◆「メサイア」はどうですか?~メリスマが難しい!でもメリスマ好き。どこで力を抜くか分かってきた。
- ◆好きな曲は?~「All we like sheep」(羊がちよろよろ駆け回っているような曲)、「since by man」(高校生がアカペラで歌う曲)、メリスマの曲!どれも即答でした。
- ◆小泉先生は?~厳しいけれどいい緊張感で、大事な時間を過ごしている気がした。身になることを(昔のこと、様式のこと)をたくさん教えてくれた。
- ◆松村先生は?~おもしろい!練習する度に合唱って楽しいと思える。音のことや子音のことを教わった。
- ◆ソリストは?~声がすごい!大人数の合唱でもできないことを一人で全部やっている。
- ◆大人たちは?~熟練。迷いが無い。入りにためらわない。体に染みこんでいる感じ。自分も大人になっても歌い続けたい。

～演奏することは尊いこと～

2014年冬、母校、国立音楽大学の図書館で「美しい手稿の世界」というテーマの展示が行われ、図書館に収められている手稿またはそのファクシミリ、という大変貴重な資料の数々を閲覧する機会を得ました。学生時代からお世話になってきた図書館職員の市川さんという方の詳しい解説を直々にいただきながら、それぞれの作曲家の筆致の中にある、作曲家の息吹、苦悩、喜び、などを伺い知ることが出来た貴重な時間でした。五線紙の余白の隅々まで作曲をしたバッハ、寸分違わず整えられたドビュッシーの美しい楽譜、音符と音符の行間からそのオペラの躍動感が伝わるヴェルディの楽譜・・・本当に美しい魂が、まさにそこに息づいているかのような、そしてその時代にタイムスリップするような感覚さえ覚えました。それは感動以外の何ものでもありません。

大学を卒業するころ、その後の進路を考える中で、オペラ（声楽）や音楽教育の勉強に加えて、少年時代から続けてきた合唱の道をさらに深めたいと思っていました。そんな折、声楽科の同級生の友人が「自分の先輩に会わないか、その方は合唱の指揮者で作曲家で、今度その方の合唱指導を見学に行かないか」と。その方こそ、20代の松下 耕先生でした。

見学に伺った時は、ちょうど演奏会に向けての練習をされていて、その日は松下先生が合唱団の演奏会のために書き下ろされたばかりの楽曲（曲集）の初練習でした。作曲家ご自身のピアノで、合唱団員が音取りをし、音が重なり合いハーモニーが生まれ、楽曲が構築されていく様は魅力的で刺激的でした。その時、配布された松下先生の手書きの楽譜は、私にとってもかけがえのないものとなっています。その手書き楽譜（初校）、何と澆刺として、美しい思いが込められているのか、と今でも手にするたびに思います。それ以来、松下先生の手書きの楽譜を何曲も手にさせて頂きましたが、その都度、それぞれの作品ごとの溢れる思いを感じずにはられません。

今回、4回に亘り、「著作権」という観点で私なりの思いを多岐に巡らせてみました。

- ① 自分の楽譜を持つことの意義や人生の楽しみとは。
- ② 演奏家としてのマナーとして様々な著作権を守り知ることが知的文化の継承であること。演奏の著作権、歌詞カードなどの著作権、その他、上演権。
- ③ 作曲家だけでなく作詞家にも権利があること。

演奏するということは尊いこと、という自分の思いを再認識する時間でもありました。

私は常々、音楽の出会いと人の出会いは同じではないか、と思います。心に残る音楽も大好きな曲も全て、作り手の思いがあり、演奏家が受け継ぐ思い、耳にされる方の心があります。皆様が日々、手にされる楽譜にも多くの思いが込められています。楽譜こそ私達演奏家の財産。皆様も心に残る多くの楽譜を手になされ、ご自分の棚に並べて下さいね。



過去に購入した楽譜も全てに自分なりの思いが重なることだと思います。私も我が家の楽譜の棚を誇らしく思うこともしばしばで、これからますます増えていく楽譜の棚をどう広げていくか、目下の課題です。

皆様の素敵なそれぞれの楽譜探しの旅、今度お聞かせください。

神奈川県合唱連盟副理事長 藤原 規生

リレーエッセイ No11 指揮者の『こゝだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。

今回は杉山 範雄先生です。

～人を知り、触れ合うことの大切さ～



これまで、今を活躍されている素晴らしい先生方のお話から一転、県連では指揮者というより『合唱祭の発声タイムの人』『じゃんけん大会のお兄さん』としての知名度の方が高い私の話なんて?! と思いながら書かせて頂いております (笑)

自分が児童合唱団に所属していた頃、演奏会や合宿、コンクールなど、各イベントに対し日記をつける『感想ノート』というものがありました。その頃130名はいたであろう団員全員が思い思いに文章を書き、先生に提出し、それに対して先生が一人一人にコメントを書いくださるものでした。小学生の文法もメチャクチャな文章でも、先生はお世辞や上っ面な言葉ではなく、心にダイレクトに響くメッセージを下さいました。児童合唱団にとって男子は貴重な『資源』だったため、それなりに甘やかされておりましたが、思春期まっさかりの中学時代、私の文章に対し『全然自分をわかっていませんね、まずは自分を正すべきでは?』と爆弾をおとされたことも。高

校生になり、それなりに自分の考えを書くようになったとき『成長しましたね、最近のあなたの行動にもそれが表れていますよ』とメッセージをもらった時は、それは嬉しいものでした。どんな団員であっても背をそむけず、真正面から受け止める姿勢、これが自分にとって師から学んだ何よりのことでした。

私もお蔭様で自分の合唱団をいくつか持つことができ、また副指揮やボイストレーナー、演奏にもたくさん携わることができる身となりました。各合唱団、一人一人と接してその人を知るように心がけています。よってお互いに遠慮なく意見を言い合え、時には助けあったりもでき、音楽も一方通行でなく、心が通じているからこそ成せるアンサンブルがあります。ただ、私はまだまだ修行中の身でありますので、時には『あなたの指揮はわかりにくい』『出来ないのはあなたの指導不足』など、心がぼっきり折れてしまいそうな一言を吐かれることもあります。ですが、その言葉は私への要望であり、改善すべきところなので、『天からのお告げ』として前向きに受け止め、その方も普通に会話し、飲みに行ったりもしました。多少お酒が入ったところで相手から『先日は大変失礼なことを申しました』と始まり、その意見の真髄を聞き、お互いに納得しあえました。粘り強く、その人と向き合うことで、お互いの欠点を補い合えることができたのです。

先日の児童の合唱指導で、初回レッスンで小学4年生の男の子が、いくら注意してもおしゃべりや悪ふざけをやめてくれませんでした。次のレッスン前に『逆療法を!』と考え『やあ、元気? 今回の合唱、どの曲が好き?』と何気なく会話してみたところ、不思議にもそのレッスン中はみんなと同じように行動し、多少の悪ふざけはあったものの、ちゃんと歌ってくれました。何気ない質問ひとつでしたが、触れ合うことの大切さを目の当たりにした瞬間でした。

決してこれが正しいありかたであるとは思っておりませんが、心を広く持ち、人と人が触れ合っていくことの大切さは、音楽だけでなく全てのことに通じてくるように思います。

触れ合いの輪が合唱を通じて世界に広がっていきますように♪

次回は指揮者の宍達陽一先生にお願いしました。

★★「横浜混声合唱団」が 平成27年度横浜文化賞「文化・芸術部門」受賞!!★★

1948年設立の横浜混声合唱団が、式典やイベントでの演奏、横浜市歌や校歌などの録音を通じて、クラシックやポップスなどジャンルにとらわれない合唱の普及に貢献したとして、今年度の横浜文化賞「文化・芸術部門」を受賞されました。

横浜市歌の普及のため1966年にソノシート、1982年にテープ録音を行うなど、これまでの活動が評価されたものです。

表彰式は昨年11月13日（金）横浜みなとみらいホール小ホールで行われました。



カノンコンサートガイド

2016年 1/31 (日)	川崎混声合唱団 第50回定期演奏会 14:00～ 川崎市多摩市民館 大ホール 入場料：1,000円 お問合せ：粟飯原 044-900-3211 aihara1105ai@yahoo.co.jp 指揮：小笠原 吉秀 川混50回記念オーケストラ フォーレ「レクイエム」 ピアノ：遠藤 有子 佐藤 眞「蔵王」
2/11 (木・祝)	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 第46回定期演奏会 13:30～ 日本女子大学西生田成瀬講堂大ホール 入場料：無料 お問合せ：梶田 由紀子 044-952-6711(学校) 指揮：丸山 恵子 鈴木 輝昭 作曲「裸形」「ロータスの園の中・・・」土田 豊貴 作曲「きまぐれうた」他
3/4 (金)	フラウエンコア・ヴォンネ 第3回演奏会 17:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,500円 お問合せ：後藤 0466-24-3522 指揮：吉田 公子 ピアノ：金井 信 ア・カペラの小品とミサ曲及びミュージカルナンバーを金井 信編曲で
3/20 (日)	県立多摩高等学校合唱部 第50回定期演奏会 17:30～ ミューザ川崎シンフォニーホール 入場料：一般500円 高校生以下無料(チケットぴあ) お問合せ：福王寺 044-911-7232 歴代顧問の指揮によるOB合同合唱 ハレルヤ・雲雀にかわれ・くちびるに歌を・鷗(オルガン)等を演奏
3/21 (月・祝)	クール・コメール 40周年記念 クール・コメール 第18回コンサート “f” 13:30～ 茅ヶ崎市民文化会館小ホール 入場料：1,000円 お問合せ：明田(あきた) 0467-82-3638 指揮：斉藤 悦子・吉田 孝古 監 ピアノ：金子 雅代「みすゞの旅」「いつかの木から」吉田 孝古 監 編曲ガムカソウネ
3/22 (火)	桐蔭学園中学校・高等学校グリークラブ 第10回記念定期演奏会 18:00～ 横浜市青葉区民文化センター フィリアホール 入場料：無料 お問合せ：宮嶋 080-2218-4465 paulownia.male.choir@gmail.com 10回記念として森山 至貴先生の男声合唱とピアノのための「とうぶつ <u>の</u> うた？」を現役・OB合同で演奏致します
3/26 (土)	男のコーラス・ドッグウッド 2016 定期演奏会 14:00～ ミューザ川崎シンフォニーホール 入場料：1,000円(全席自由) お問合せ：オフィス・バルーン 045-902-7402 指揮・作曲・編曲：青木 雅也 ピアノ：中谷 路子 青柳 志保 演出：大島 尚志「歌うジジイたち」委嘱初演
3/29 (火)	杉山神社幼稚園コールなおび 風は南から ジョイントコンサート 13:00～ 吉野町 市民プラザ 入場料：無料 お問合せ：福原 045-712-1624 指揮：藤元 薫子 ピアノ：上田 ますみ 広く合唱を広めたく35周年を期に開催。ゲストを迎え、歌って笑える会に！
4/3 (日)	横須賀女声合唱団 第10回演奏会 14:30～ よこすか芸術劇場 大劇場 入場料：1,500円(小学生以下無料) お問合せ：桐ヶ谷 照子 046-842-9462 指揮：清水 敬一 ピアノ：池浦 真紀子「日本抒情歌」「英霊たちの歌」「風は今」他「共演者」「私たちが進みつづける理由」
4/29 (金・祝)	清泉女学院音楽部 La Pura Fuente(清泉女学院 O.G) 第30回定期演奏会 二群の同声合唱とピアノのための《夢の木》地球歳時記より完成記念 13:30～ 鎌倉芸術館大ホール 入場料：無料 お問合せ：清泉女学院中学高等学校 二ツ木、北宮 0467-46-3171 指揮：佐藤 美紀子 ピアノ：鈴木 あずさ・鷺山 麻衣子(公財)JAL 財団委嘱作品《夢の木》初演、《幻の風・光の海》、現代宗教曲他

第10回記念定期演奏会



桐蔭学園中学校・高等学校グリークラブ

1st Stage
 コンクール+ステージ
 2nd Stage (現役・OB合同ステージ)
 第10回記念愛楽曲ステージ
 3rd Stage
 POPS ステージ
 4th Stage (現役・OB合同ステージ)
**男声合唱とピアノのための
 「どうぶつのうた？」**
 (曲:森山至貴 詩:木坂涼)
どのことばよりも (男声4部合唱版)
 (曲:森山至貴 詩:牟礼慶子)
 【第10回記念委嘱作品】

指揮:小室啓吾、服部純也 ピアノ:小田武史

2016年3月22日(火)

17:30開場 18:00開演 予定
 横浜市青葉区民文化センター
 フィリアホール

(東急田園都市線 青葉台駅下車徒歩3分
 青葉台東急スクエアSouth-1 本館5階)

入場無料



後援: 桐蔭学園中学校・高等学校グリークラブOB会

Paulownia Male Choir

お問い合わせ: paulownia.male.choir@gmail.com 080-2218-4465 (宮嶋)

県連からのお知らせ <東日本大震災に伴う義援金募集について>

神奈川県合唱連盟では、東日本大震災復興支援の一環として、県連各行事における募金の呼びかけを行い、同時に各団体、個人からの義援金の受付も行っています。いただきました義援金につきましては、全日本合唱連盟の「被災地の合唱活動復興のための義援金」に寄託を行っています。平成23年から平成27年12月まで、累計2,643,898円の義援金をいただきました。皆様の温かいご支援に心より御礼申し上げます。今後も継続して寄付を募集しておりますので、以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

～義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様～

横浜ローゼンコール様

【郵便振込】 口座記号・番号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意ください。

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆無料掲載：「コンサートガイド」県連加盟団体のコンサートのお知らせです。

県連ホームページより申込み用紙をダウンロードしてご利用ください。

①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問合せ連絡先 ⑦コメント(50字以内)の項目を記入の上、メール、Faxまたは郵送にて編集部までお申し込み下さい。

*無料掲載は演奏会1件につき1回のみとなります。

◆有料掲載：1/8\$ ¥2,500、1/4\$ ¥5,000、1/2\$ ¥10,000、1\$ ¥20,000 (未加盟団体は倍額となります。)

ご希望のサイズで版下原稿を作成してお送り下さい。お送りいただいたデータをそのまま掲載いたします。内容は基本的に自由ですが、事務局が掲載にふさわしくないと判断したものにしましてはお断りすることがあります。

*有料掲載と無料掲載の両方をご希望の場合はそれぞれにお申し込み下さい。

*カノン発行日と原稿締切り：春号(4/10発行)2/28締切り、夏号(7/10発行)5/31締切り、秋号(10/10発行)8/31締切り、冬号(1/10発行)11/30締切り

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2016年1月～11月)

- | | | |
|---|-----------------|----------------|
| ●第39回神奈川県合唱フェスティバル～ジュニアの祭典～ | 2月11日(木・祝) | 県立音楽堂 |
| ●第18回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト | 3月5日(土) | 県立音楽堂 |
| ●2016年度総会 | 4月3日(日) | かながわ県民センター ホール |
| ●第39回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 | 4月16日(土) | 県立音楽堂 |
| ●第59回神奈川県合唱祭(4日間) | 6月11日(土)・12日(日) | 県立音楽堂 |
| | 6月25日(土)・26日(日) | 県立音楽堂 |
| ●第59回神奈川県合唱コンクール
(第71回関東合唱コンクール神奈川県大会) | 8月20日(土)・21日(日) | 県立音楽堂 |
| ●第22回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル | 11月24日(木) | 横浜みなとみらいホール(大) |

編集後記：いつまでも緑だった日本大通りのイチョウも、いつの間にか黄金色のじゅうたんに景色を変え、気がつけば新年を迎えていました。月日の過ぎるのが本当に早く感じるこの頃。歌いに行ける場があること、一緒に歌う仲間がいることのしあわせを大切にしたいですね。
(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 松村 努 編集責任者：青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐：平日：月火木金(休祝日を除く) 12:00～16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

